

令和2年度予算総額

343億9,220万円

令和の種まき予算

令和2年度当初予算は、第2次亀山市総合計画前期基本計画第2次実施計画の2年目として、施策・事業の積極的な展開を図るため、重点的な予算配分を行いました。

幼児教育・保育の無償化や障がい者サービスの利用増に対する経費など、市民サービスの提供に必要な予算を確保するとともに、新図書館及び亀山駅周辺整備事業、また、井田川小学校校舎増築・給食室改修事業に係る事業費を、事業の進捗に合わせて増額しました。そのほか、消防はしご自動車の共同整備に係る経費や和賀白川線整備事業、ソフト事業では、かめやま文化年事業や国民体育大会開催事業、さらに、会計年度任用職員制度の導入に係る経費などを計上しました。

第2次総合計画の積極的な展開と、新たにスタートした「第3次行財政改革大綱」による財政健全性の確保の両立に努めます。

なお、新型コロナウイルス感染症への対応については、適宜すみやかに予算対応を図っていきます。



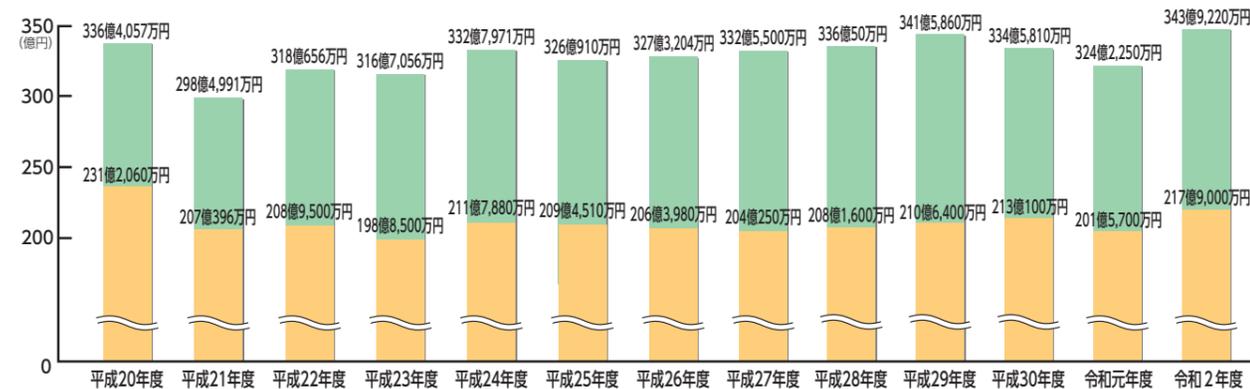
特別会計は、特定の目的のための会計で、特定の収入があり、一般会計と区別して収入・支出を経理する会計です。

- ①国民健康保険事業 46億3,070万円(前年度比 4.7%増)
- ②後期高齢者医療事業 10億5,220万円(前年度比10.2%増)
- ③農業集落排水事業 4億9,150万円(前年度比 0.4%減)

企業会計は、民間企業と同じように事業収入によって運営する会計です。

- ①水道事業 18億2,530万円(前年度比 1.5%増)
- ②工業用水道事業 1億1,080万円(前年度比67.3%減)
- ③公共下水道事業 24億3,710万円(前年度比 8.3%増)
- ④病院事業 20億5,460万円(前年度比 2.4%増)

○全体の予算額と一般会計予算額の推移



一般会計を

大解剖

一般会計とは、福祉や防災、道路、教育など市の基本的な仕事に関する収入と支出を経理する会計です。

過去2番目に大きな規模

総額 **217億9,000万円**

